

市内小学校校庭樹木勉強会の支援

里山グループ 杉山正寿

里山グループでは市内小学校の要望で校庭樹木の勉強会を春と秋に理科の授業として3~4年生を対象に実施しています。

まずは校庭の樹木の調査から始め、校庭の樹木の位置とその名前を調べて図面化し、樹木の名札も付け、その調査資料をもとに代表12種類くらいの樹木を選び勉強会用の資料を作成します。樹木の名前、その木の名前の由来や特徴を記入し、子どもが興味を持つような内容を加えたものにし、春の緑の葉の時期と秋の紅葉やドングリの時期に年2回実施します。45分授業で限られた時間ですが、生きた化石と言われているメタセコイアやクスノキの葉をアオスジアゲハの幼虫が食べて大きくなる話などに子ども達は興味津々です。一年中緑色の葉を茂らす木の仲間や秋にはドングリを実らせたり、落葉する木の仲間など校庭樹木の観察は一年中楽しめます。

木の名前を知る事は友達の名を覚えるのと同じでいっそう楽しくなり、樹木や自然環境に興味を持つ子ども達になって呉れればと願っています。「校庭樹木勉強会」は「子ども樹木博士認定試験」と共に今後も里山グループのフィールド・ワークとして活動の輪を拡げていきたいと思ひます。



産学連携事業のセミナーに参画

エコ事業所グループ

エコ事業所グループでは、平成27年10月29日(木)高槻市・高槻商工会議所の産学連携事業として、高槻商工会議所で開催された、高槻「儲かる省エネ・儲ける省エネセミナー」に参加し講演を行いました。

講演で、電気料金が値上げされ電気代やガス代などエネルギーコストが経営を圧迫し、省エネの対策や進め方に悩める中小事業者の皆さんを対象に、国が進める効果的な2つの施策と、活用事例をご紹介します。

① 無料省エネ・節電診断制度の概要と対策事例

一般財団法人省エネルギーセンター

エネルギー使用合理化専門員 竹若 富三郎氏

② エコアクション21の概要と、取組み事例

概要説明： エコアクション21審査人

エコ事業所グループ 宇田 吉明氏『写真上』

事例発表： 株式会社 河原工房 植松 智香氏『写真下』

20名(関係者含み)の参加があり、講演後は活発な質疑応答が行われました。



たかつき環境市民会議では各グループの会員を募集しています

エコ&エコーVol.26

2015年11月10日発行

発行：たかつき環境市民会議

編集：たかつき環境市民会議編集委員会・プレスグループ

問合せ先：たかつき環境市民会議事務所

「事務所のご案内」

●住所：高槻市出丸町2番30号
高槻市環境緑政課分室内

●TEL・FAX：072-675-4646

●mail：takatsukikankyo21@gaea.ocn.ne.jp

この広報紙の編集を手伝ってくださる方を募集しています。一緒にいかがですか

自然環境の保存・利用の活動をすすめています

2015 夏・秋特集号



摂津峡クリーンハイキング 9月27日

◆ Contents

- 1 全体活動：摂津峡クリーンハイキング・打ち水大作戦
- 2~3 たかつき環境市民会議・市民環境大学の夏・秋の活動
- 4 特別活動紹介 里山グループ、エコ事業所グループ



高槻まつり・打ち水大作戦

水環境保全グループの今

水環境保全グループ 古谷榮助

水環境保全グループは主に雨水利用タンクの普及活動および芥川の生態系保護活動として水ヒマワリの除去、清掃活動などを行っています。中でも芥川の清掃活動は重視している活動の一つです。休日には多くの人達が河原でバーベキューを楽しんでいます。しかし、その後には多量のゴミが散らかっています。ゴミを残して帰る人は一部の人ですが、大勢の人が集まればその量も多くなります。また、堤防上の道路から土手にほり捨てられたゴミも目立ちます。私達は2013年から毎月1回清掃活動を続けてきましたが、ゴミの量は全く減りません。そのうちに市民のモラルが向上し、ゴミを捨てる人が居なくなる日がやって来ることを信じて粘り強く活動を行っています。できれば市民会議全体で取り組んで、高槻をきれいな山と川の街にしたいと思っています。



摂津峡クリーンハイキング 2015/9/27(日) 上ノロー桜公園

天候に恵まれ、92名の方の参加のもとに無事実施できました。参加者は、JR西日本テクシア、サンスター、第一三共プロフーマから計36名、一般・エコスタッフの会・環境市民会議で計56名でした。

4班に分かれて、上の口から桜公園までの摂津峡遊歩道の清掃を行いました。ゴミの量は意外と少なく、参加者の方には達成感を感じて頂けなかったのではと気がなりました。ゴミの量は、不燃ゴミ3袋、可燃ゴミ6袋(45Lゴミ袋)

緑化フェア

2015/10/18(日) 城跡公園

「みどりあふれる高槻を夢ある子どもたちへ」のキャッチフレーズのもと、城跡公園で行われました。

高槻環境市民会議からは里山、水、交通、省エネ推進の各グループとエコスタッフの会が展示に参加しました。里山の保全と利用の紹介、芥川の魚と雨水利用の紹介、自転車運転ルールの改正道路交通法の説明、環境・家計に易しい節約、省エネ活動の実践・啓蒙等参加市民の方々にアピールしました。

会員の参加約50名、一般市民は朝から親子連れなど多数の人が来訪し、アンケート調査に協力してくれました。

打ち水大作戦

8月1日～2日

高槻まつり恒例のたかつき環境市民会議の打ち水は、今年もパレードに先立ち、本部前で実施しました。

両日とも25名の会員が分担しバケツと柄杓を30セット準備し、おどり開始の10分前に所定位置に配置。打ち水は会員の『打ち水の意義』アナウンスと『打ち水音頭』の先導で、集った子ども達によって始まりました。親子連れ、友達仲間に加えて、祭り運営委員も参加して熱心に行いました。

以前の効果測定では、短時間ながら約2℃の周囲温度の低下が確認されており、おどり連の人達に少しばかりの涼を提供出来ました。打ち水と共に当会の幟旗の掲示と、歩きタバコ防止啓発のティッシュ配りも行いました。



自転車が右側を走行して脇道から出てくると、大通りを走ってきた車からは見えなくて出会い頭の重大事故となります。
9月27日(日) 交通安全フェスティバルのスクエアドストレート(恐怖の体験)・ショーで撮影。 於:大冠小学校

高槻市自転車安全利用条例 2015/10/1施行 「歩道通行時は、車道左側にある歩道を通行」 条例の特徴(3) 車道や細街路では、左側通行を！右側を通ると危険な事故(上の写真)に、出遭います。(人にやさしい交通グループ)



子ども樹木博士認定試験 (里山グループ) 2015/8/22日(土) 城跡公園・城内公民館

第11回子ども樹木博士認定試験を開催しました。恒例の「木の名前をおぼえて 子ども樹木博士になろう」というイベントです。目的は子どもたちに樹木と楽しくふれあいながら樹木の名前や特徴を学び樹木や環境に興味を持ち自然を守ろうとする子ども達になってもらうことです。平成17年より開始して11回目となりました。参加者は子ども13名 ほか合計25名。累計で223名の博士の誕生です。

当日、城跡公園の25種類の樹木観察を行い、名前や特徴を真剣に勉強し、公民館にもどって復習、簡単な試験を行います。採点の後「子ども樹木博士の認定証」が授与され、全員が頑張って認定証や水鉄砲などの土産をもらい笑顔いっぱいの夏休みイベントでした。



ゴーヤを使った「料理教室」を実施 (省エネ推進グループ)

7月28日(火) 磐手公民館

「緑のカーテン作戦」の一環として、ゴーヤの廉価提供、こいのぼりフェスタ1000とジャズフェスティバルでのPRに続き、省エネ講座とゴーヤを使った「エコクッキング教室」を実施し、大好評を得ました。

- <第1部・省エネ講座> 夏の節電、無理なくしかも財布にやさしく
- <第2部・ゴーヤを使ったエコクッキング(講師)大阪ガスクッキングスクール(料理) ゴーヤチャンプル、味噌汁、ゴーヤヨーグルト他



水生昆虫の観察



3期生自主研修
市民環境大学・
エコスタッフの会



OB会で津之江公園再生化の決議